

# 2011年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2012年3月16日（金）16時00分～17時30分

場所：仙台管区気象台4階会議室

開会の挨拶

出席者紹介

## 議 題

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1. 支部長挨拶           | 2 ページ |
| 2. 役員交代            | 2 ページ |
| 3. 2011年度事業報告      | 3 ページ |
| 4. 2011年度会計報告      | 5 ページ |
| 5. 2011年度会計監査報告    | 6 ページ |
| 6. 2012年度事業計画案     | 7 ページ |
| 7. 2012年度予算案       | 8 ページ |
| 8. その他             | 9 ページ |
| (1) 全国理事会報告        | 9 ページ |
| (2) 2013年度秋季大会について | 9 ページ |
| (3) 事務局から          | 9 ページ |

## 資 料

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 2012年度支部独自活動計画(提出資料) | 10 ページ |
| 役員名簿(第27期2011年度後期)   | 11 ページ |
| 東北支部規則               | 12 ページ |
| 東北支部細則               | 13 ページ |

## 1. 支部長挨拶

## 2. 役員の交代

- ・2011年10月に森田理事転出により  
丹治 和博氏（日本気象協会東北支局長）に交代

- ・2012年4月人事により  
藤村支部長は転出  
日野理事は定年退職  
松原理事は定年退職  
正木幹事は転出

小川理事は予報士会東北支部支部長の退任にあたり交代

### ・全国理事選挙

岩崎理事と長谷川理事が立候補(3月8日[木]投票締切、その後開票)  
第37期理事候補者選挙において当選

### ・東北支部第27期役員の任期は2011年度まで

2012年度早々に第28期役員の選挙を実施したい(今月中には告示)

(    氏 藤村支部長の後任)

(    氏 小川理事の後任)

(高尾氏 青森県からの地方理事)

(    氏 松原地方理事の後任)

(    氏 正木幹事の後任 仙台管区气象台技術部気候・調査課調査係員)

### ・支部長は、第28期役員選挙後、2012年度第1回理事会で互選

それまでの支部長代理の選出

支部規則第11条で支部長の指名により選出     理事を指名したい

※ 日本気象学会東北支部第27期役員名簿は、11ページのとおりです。

### 3. 2011年度事業報告

#### 1) 東北支部気象講演会

日時：2011年11月5日〔土〕13時30分(開場13時00分)～16時00分

場所：いわて県民情報交流センター アイーナ812研修室

テーマ：「やませの現状と地球温暖化」

講演 ①「ヤマセと地球温暖化 ～ヤマセの気象学～」

岩崎 俊樹 氏 (東北大学大学院理学研究科 教授)

講演 ②「やませ及び気候変動と稲作」

神田 英司 氏 (東北農業研究センター 主任研究員)

後援：岩手県、盛岡市

参加人数：約80名

東北支部だより第72号(2012年3月発行予定)に開催報告を掲載予定

#### 2) 支部独自活動

気象サイエンスカフェ東北

日時：2011年11月12日〔土〕15時～16時30分

場所：仙台市天文台

テーマ：「二酸化炭素はどこから来てどこに行くのか？」

—地球温暖化とのかかわりについて考えてみよう—

話題提供：青木 周司 (東北大学大学院理学研究科教授)

参加人数：約40名

共催：仙台市天文台・気象予報士会東北支部・気象協会東北支局・仙台管区気象台

東北支部だより第71号(2011年1月)に開催報告を掲載

#### 3) 東北支部気象研究会

日時：2011年12月16日〔金〕13時～16時20分

場所：仙台第3合同庁舎2F大会議室

発表：8題

参加人数：約40名

仙台管区気象台と共催

東北支部だより第71号(2012年1月)に開催報告を掲載

#### 4) 東北支部だより

第70号 (2011年8月発行)

- ・東北地方で行われている研究プロジェクト(I)「東北地域のヤマセと冬季モンスーンの先進的ダウンスケール研究」：岩崎俊樹氏(東北大学大学院理学研究科)
- ・気象台予報業務の震災対応：阿部仁氏(仙台管区気象台)
- ・東北支部第27期役員選挙結果
- ・2011年度第1回支部理事会議事録
- ・平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に被災された会員の年会費免除につ

いて

第71号（2012年1月発行）

- ・東北地方で行われている研究プロジェクト(II)「高精度センシング技術を用いた列車運行判断のための災害気象の監視・予測手段の開発」：楠研一氏(気象庁気象研究所)
- ・平成23年度日本気象学会東北支部気象研究会報告及び要旨（事務局 著者）
- ・気象サイエンスカフェ報告：青木周司氏

第72号（2012年3月発行予定）

- ・東北地方で行われている研究プロジェクト(III)「『学校气象台』地域連携ネットワークシステムの構築」－岩手大学発信地域連携事業－：名越利幸氏（岩手大学）
- ・支部気象講演会報告：日野修氏(盛岡地方气象台)

#### 5) 支部理事会

第1回（2011年 5月11日，仙台管区气象台第1会議室）

第2回（2012年 3月16日，仙台管区气象台第1会議室）

#### 6) 平成24年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の公募

次年度の気象講演会（山形県で開催予定）の申請はしなかった

#### 7) 日本気象学会奨励賞の推薦

今回は、東北支部からの推薦者はなし

#### 4. 2011年度会計報告

〔支部一般会計〕(2011年4月1日～2012年3月14日)

	予算額	決算額	差異
<b>I 収入の部</b>			
事業活動収入			
本部交付金	*1592,400円	592,400円	0円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円
雑収入			
預金利息	50円	66円	16円
事業活動収入計(1)	592,450円	592,466円	16円
<b>II 支出の部</b>			
事業活動支出			
事業費支出			
支部だより	220,000円	132,165円	87,835円
支部気象講演会	290,000円	247,395円	42,605円
支部気象研究会	35,000円	38,540円	△3,540円
気象サイエンスカフェ補助	0円	*157,298円	△57,298円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
管理費支出			
支部理事会	95,000円	46,600円	48,400円
支部役員選挙	20,000円	0円	20,000円
事務費	10,000円	8,946円	1,054円
事業活動支出計(2)	685,000円	545,944円	139,056円
<b>III 予備費支出</b>			
予備費支出	44,103円	0円	44,103円
予備費支出計(3)	44,103円	0円	44,103円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	△136,653円	46,522円	183,175円
前期繰越収支差額(B)	136,653円	136,653円	0円
次期繰越収支差額(A)+(B)	0円	183,175円	183,175円

※マイナスの金額には、△印を付した。

\*1 気象サイエンスカフェ不足分を一般会計から支出。

\*2 本部へは今後の収支も組み入れた4/1～3/31の会計を報告します。本会計報告には、第2回支部理事会費用45,000円程度と支部だより第72号印刷発送費用65,000円程度が組み入れられていません。最終的な収支計算書は、新年度第1回支部理事会でご報告します。

〔支部独自活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	30,000 円	30,000 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	30,000 円	30,000 円	0 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	8,000 円	42,000 円	△34,000 円
講師謝金	15,000 円	0 円	15,000 円
事務費	7,000 円	8,298 円	△1,298 円
役務費・交通費	0 円	37,000 円	△37,000 円
管理費支出	0 円	0 円	0 円
事業活動支出計(2)	30,000 円	87,298 円	△57,298 円
III 予備費支出	0 円	0 円	0 円
予備費支出計(3)	0 円	0 円	0 円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	0 円	*1 △57,298 円	△57,298 円

※マイナスの金額には、△印を付した。

\*1 不足額は、支部一般会計から補填

5. 2011年度会計監査報告

預金通帳、現金、領収書を照合の結果、誤りがないことを認めます。

2012年3月14日

日本気象学会東北支部会計監査

阿部 仁 

## 6. 2012年度事業計画案

### 1) 東北支部気象講演会

2005年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2005年度	盛岡市	矢内桂三	古川洋一	
2006年度	山形市	中澤高清	佐藤 威	
2007年度	青森市	板谷宏之	児玉安正	
2008年度	福島市	渡邊 明	大久保忠之	
2009年度	大崎市	境田清隆	大場淳司	
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田邦明	
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司	

2012年度は山形県で開催予定です。

#### 【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

2013年度は青森県で開催。今後(2012年秋以降)準備を進めていくこととします。

(担当理事は境田理事及び、青森県からの地方理事)

### 2) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台の調査研究会に合わせて共催で開催予定。

2012年度の開催については、仙台管区気象台気候・調査課と検討中

### 3) 東北支部だより

年3回発行(第73号、74号、75号)の予定。

### 4) 支部理事会

年2回(6月、3月頃予定)開催している

2012年度第1回理事会は、支部役員選挙後、例年どおり5~6月頃に開催したい

### 5) 支部独自活動

気象サイエンスカフェ東北を秋頃に仙台市で開催する。今後、準備を進めていく

(別紙参照[P10])

### 6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

理事会と事務局で検討し、選考していく

## 7. 2012年度予算案

### 〔支部一般会計〕

	2012 年度予算額	2011 年度予算額	増 減
<b>I 収入の部</b>			
<b>事業活動収入</b>			
本部交付金	*1578,000 円	592,400 円	△14,400 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
<b>雑収入</b>			
預金利息	50 円	50 円	0 円
<b>事業活動収入計(1)</b>	578,050 円	592,450 円	△14400 円
<b>II 支出の部</b>			
<b>事業活動支出</b>			
<b>事業費支出</b>			
支部だより	220,000 円	220,000 円	0 円
支部気象講演会	260,000 円	290,000 円	△30,000 円
支部気象研究会	40,000 円	35,000 円	5,000 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
2013 年度秋季大会	10,000 円	0 円	10,000 円
<b>管理費支出</b>			
支部理事会	100,000 円	95,000 円	5,000 円
支部役員選挙	0 円	20,000 円	△20,000 円
事務費	5,000 円	10,000 円	△5,000 円
<b>事業活動支出計(2)</b>	650,000 円	685,000 円	△35,000 円
<b>III 予備費支出</b>			
予備費支出	111,225 円	44,103 円	67,122 円
<b>予備費支出計(3)</b>	111,225 円	44,103 円	67,122 円
<b>当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)</b>	△183,175 円	△136,653 円	△46,522 円
<b>前期繰越収支差額(B)</b>	183,175 円	136,653 円	46,522 円
<b>次期繰越収支差額(A)+(B)</b>	0 円	0 円	0 円

※マイナスの金額には、△印を付した。

\*1本部交付金は、支部会員190名×1,200円+35万円で計算

\*2本部会計に合わせ、支部の会計も確定版としては4/1～3/31で計算したいと思います。この場合、第2回支部理事会費用45,000円程度と支部だより第72号印刷発送費用65,000円程度が組み入れられるため、最終的な繰越金は74,000円程度となる見込みです。

変動分は予備費支出で調整したいと思います。

## 8. その他

### (1) 全国理事会報告

### (2) 2013年度秋季大会について

現在、2013年11月19日（火）～21日（木）に仙台国際センターでの開催を検討中  
会場費の見積りをいただいで検討している

### (3) 事務局から

#### ①東北支部会員数（個人会員）

2012年1月現在

県名	会員数	2011. 04
青森県	28名	27名
岩手県	20名	20名
秋田県	15名	13名
山形県	17名	20名
宮城県	86名	94名
福島県	26名	29名
合 計	192名	203名

(2011年4月の時点では203名なので11名減)

#### ②気象サイエンスカフェ東北の主催・共催について

第1回・第2回気象サイエンスカフェ東北は、主催：気象学会東北支部、共催：気象予報士会東北支部・気象協会東北支局・仙台管区气象台として行われた。

気象サイエンスカフェは、気象学会と気象予報士会は共同で主催することとなっていると意見があった。このため、主催・共催について、気象予報士会東北支部からの意向を伺った上で、本支部理事会の判断で気象学会東北支部の意向をまとめたい。

#### ③旅費等について

交通費については

盛岡は 13,000円 [6290円×2+200円×2]

弘前は 21,900円 [10910円×2]

山形は 2,700円 [1110円×2+230円×2]

仙台、岩沼は 1,000円をお願いします

※端数は切り上げています。

[別紙]

東北支部(1/1)

## 2012年度支部独自活動計画

## 1 事業名

気象サイエンスカフェ東北 開催

## 2 概要

## (1) 事業の意義、必要性、事業内容の概略

一般の方が興味をもつような気象のトピックスを取り上げ、専門家にわかりやすく解説していただき、また、十分な時間を確保して、議論することで理解を深めていただく。

気象知識の一般への普及の面では効果的と思われる。

## (2) 実施の時期及び場所(未定でも可)

2012年(開催月は未定)

仙台市

## (3) 事業の対象者

一般市民、会員、気象予報士、気象台職員など

## 3 経費の概算

合計	77,000円
内訳	
資料印刷費	22,000円
講師謝金	15,000円
役務費	20,000円
事務費	20,000円

## 4 連絡先及び担当者

宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15 仙台管区気象台内  
金濱 晋 (Tel: 022-297-8136)

東北支部長 藤村 弘志



## 日本気象学会東北支部第27期2011年度後期役員名簿

平成23年10月5日現在

支部長	藤村 弘志	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	足立 勇士	仙台管区気象台技術部予報課主任予報官
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	小川 栄造	日本気象予報士会東北支部長
	境田 清隆	東北大学大学院教授（環境科学研究科）
	長谷川 洋平	仙台管区気象台技術部長
	丹治 和博	日本気象協会東北支局長
地方理事	児玉 安正	弘前大学大学院准教授（理工学研究科）
	日野 修	盛岡地方気象台長
	松原 和正	山形地方気象台長
会計監査	阿部 仁	仙台管区気象台技術部次長
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	金濱 晋	仙台管区気象台技術部予報課調査係長
	正木 孝志	仙台管区気象台技術部気候・調査課調査係

以上

## 日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正

- 第 1 条 本支部は社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内（技術部気候・調査課）に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。  
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。  
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（2～3 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。  
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。  
（1）事業計画および収支決算  
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

## 日本気象学会東北支部細則

昭和33. 7. 5	成立
昭和40. 11. 18	1項を改正
昭和41. 3. 15	7項を改正
昭和60. 3. 19	12、13、14の各項を改正
平成6. 2. 28	1、8、9、12、13の各項を改正
平成22. 6. 11	1項を改正

### 役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名地方理事3名とする。  
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのものと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上